

5 非常警報装置

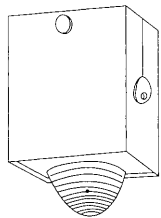
■基本的な考え方■

高齢者や身体障害者等を含むすべての利用者に緊急事態が発生したことを知らせる正確な情報伝達と安全な誘導体制に十分配慮した施設づくりが必要である。避難に関わる設備については、機能や構造の面で配慮するとともに、避難経路は明確で最短の経路とすることが重要である。

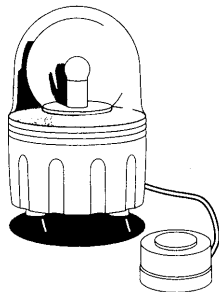
配慮事項	
項目	解説
設備	○聴覚障害者に配慮し、光・音・音声等の情報伝達の他、事態の状況を文字により知らせる文字表示装置等を併設する。 ○自動火災報知機と連動させる。
非常口・避難路	○避難路に点滅誘導灯及び誘導音響装置を設ける。

警報装置の例

キセノンランプ

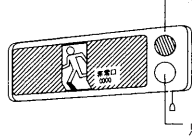


パトライト(回転灯)

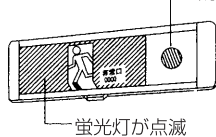


非常口誘導灯の例

点滅誘導音装置付誘導灯



誘導音スピーカー

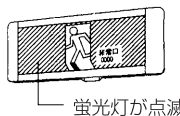


点滅装置

蛍光灯が点滅

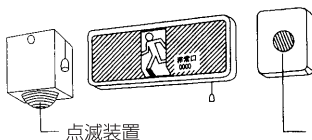
誘導音スピーカー

点滅型誘導灯



蛍光灯が点滅

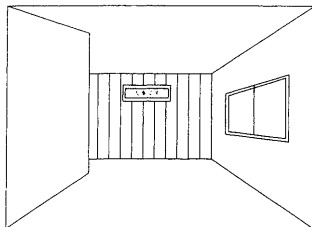
既設誘導灯に追加取付する方法



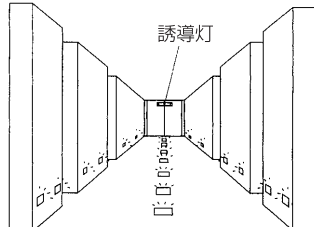
点滅装置

誘導音スピーカー

非常文字表示装置の例



光走行式避難誘導装置の例



誘導灯